OLYMPUS®

デジタル ビューティ。超描写キャメディア

CAMEDIA

デ ジ タ ル カ メ ラ

C-800L/C-400L

取扱説明書

❑ ご使用前にこの説明書をお読みください。

❑ 大切なもの（海外旅行など）をお撮りになる前には、試し撮りをすることをお勧めします。

電波障害自主規制について

この装置は、第二種情報処理装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報処理装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。
しかし、本装置をラジオ・テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信侵害の原因となることがあります。取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
尚、本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を越えることが考えられます。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

本取扱説明書をお読みになる前に

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、オリンパス指定外の第三者による修理その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

オリンパス光学工業株式会社

安全にお使いいただくために

このたびは、オリンパス デジタルカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。また、以下のことは必ず守ってください。

お読みになったあとは、必ず保管してください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害を被るおそれがある内容を示しています。

⚠ 警告

1. フラッシュを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光しないでください。目に近づけて撮影すると、視力に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。特に乳幼児に対して1m以内の距離で撮影しないでください。
2. 日光および強い光に向けて本製品を使用しないでください。目に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。
3. 可燃性ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
4. この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。以下のような事故発生のおそれがあります。
   - 誤ってストラップを首に巻き付け、窒息を起こす。
   - 電池や小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
   - 目の前でフラッシュが発光し、視力に回復不可能な程の障害を起こす。
   - カメラの動作部でけがをする。

5. 電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがのおそれがあります。

・このカメラで指定されていない電池を使わないでください。
・火の中への投入、加熱、ショート、分解をしないでください。
・古い電池と新しい電池、種類の異なる電池、異なるメーカーの電池を混ぜて使わないでください。
・充電できないアルカリ電池、リチウム電池を充電しないでください。
・取り外した電池は幼児、子供の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
・電池の＋－の極性を逆に入れないでください。

6. 湿気やほこりの多い場所にカメラを保管しないでください。火災や感電の原因となります。

7. フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また連続発光後、発光部分に手を触れないでください。やけどのおそれがあります。

8. 万一、水に落としたり、内部に水が入ったときは、速やかに電池を抜き、販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

1. 異臭、異常音、もしくは煙が出たりするなどの異常が生じた場合は、やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、最寄りの販売店もしくはオリンパスサービスステーションにご連絡ください。火災や、やけどの原因となります。
2. 本製品の分解、改造はしないでください。感電やけがをする原因となります。
3. 長期間使用しない時は電池を取り出しておいてください。電池の発熱や液漏れになり、火災やけが、周囲が汚れる等の原因になります。
4. 電池の液漏れが起こったら使用しないでください。放っておくと、火災や感電の原因となります。販売店またはオリンパスサービスステーションにご相談ください。
5. 濡れた手で操作しないでください。感電の危険があります。
6. 異常に温度が高くなるところに置かないでください。部品が劣化したり、火災の原因となることがあります。

お取り扱いについて

❖ 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で本製品を使用または保管した場合、動作不良や故障の原因となりますので絶対に避けてください。
- 直射日光下や夏の海岸など
- 高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
- 砂、ほこり、ちりの多い場所
- 火気のある場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房器、加湿器のそば
- 水に濡れやすい場所
- 振動のある場所
- 自動車の中

❖ カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。

❖ レンズを直射日光に向けて放置しないでください。レンズが傷みます。

❖ 長時間使用しないと、カビがはえたり故障の原因になることがあります。使用前には作動点検をされることをお勧めします。

❖ 三脚につける場合、デジタルカメラを回して取り付けないでください。

❖ 本体の電気接点部には触れないでください。

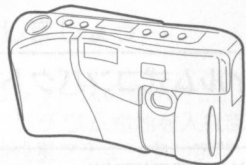
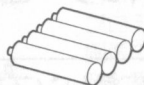
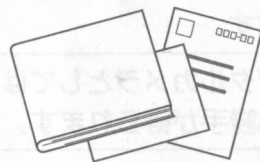
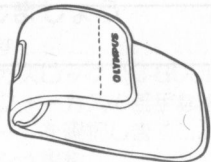
❖ フラッシュを短時間に何度も発光させると、発光部の温度が上がることがありますので、直接手を触れないでください。

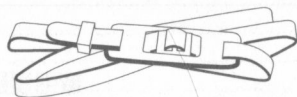
電池について

- ❖ 電池は単3アルカリ電池を4本使用します。単3ニッカド電池、単３ニッケル水素電池または単3リチウム電池も使用できますが、バッテリーチェック表示が正しく機能しませんのでご注意ください。
- ❖ マンガン電池は使用できません。電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱等により本体に損害をもたらすおそれがあります。
- ❖ 電池は正しく使いましょう。誤った使い方は液もれ・発熱・破損の原因となります。交換するときは、＋－の向きに注意して正しく入れてください。
- ❖ 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。
- ❖ 電池の＋－極が汗や油で汚れていると、接触不良をおこす原因になります。乾いた布でよく拭いてから使用してください。
- ❖ 長期間の旅行などには、予備の新しい電池を用意することをお勧めします。特に海外では、地域によって入手困難なことがあります。
- ❖ ニッカド電池およびニッケル水素電池使用の場合は、必ず電池で指定された充電器で完全に充電してからお使いください。
- ❖ ニッカド電池およびニッケル水素電池をご使用になる際は、電池、充電器等の説明書をよく読んで、正しくお使いください。

中身を確認しましょう

同梱品

カメラ本体

アルカリ
単三電池
（4本）

取扱説明書
保証書
愛用者カード

ソフトケース

リチウム電池
（CR2025×1個）

ストラップ

別売品

● パソコン接続キット PhotoDeluxeバージョン(C-1KP) •Adobe PhotoDeluxe CD-ROM (Macintosh、Windows 3.1、95 用) •Macintosh用 Plug-in ソフトウェア、Windows 用 TWAIN ソフトウェア •パソコン接続用ケーブル (DOS/V 用) •変換アダプタ (Macintosh、PC-98 用)
● パソコン接続キット FDバージョン(C-1KF) •ユーティリティソフトウェア 3.5"FD (Macintosh、Windows 3.1、95 用) •パソコン接続用ケーブル (DOS/V 用) •変換アダプタ (Macintosh、PC-98 用)
● 専用プリンタ (P-150)
● AC アダプタ (C-5AC)

主な特長

■電池駆動、軽量、コンパクトサイズで携帯性に優れています。

■光学ファインダーに加え、液晶モニタもファインダーとして使えるため、状況に応じて使い分けることができます。

■デジタルカメラとしてはクラス最高の高性能広角レンズを搭載。通常のフィルム式コンパクトカメラに近い使い勝手が得られます。

■別売の専用プリンタでダイレクトプリントができるので、撮った画像を簡単に印刷可能。システムの拡張性も楽しめます。

■高画質81万画素で、クラス最高レベルの画像が得られます。＊

＊C-400Lは35万画素

▶説明文中の□内の注意事項には、特に気を付けてお読みください。
▶<確認>は操作上の確認事項を示しています。
▶☞はその他の留意事項を示しています。
▶本文中のイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

目　次

デジタルカメラを使った楽しみ方

ビジネスシーンで活躍！

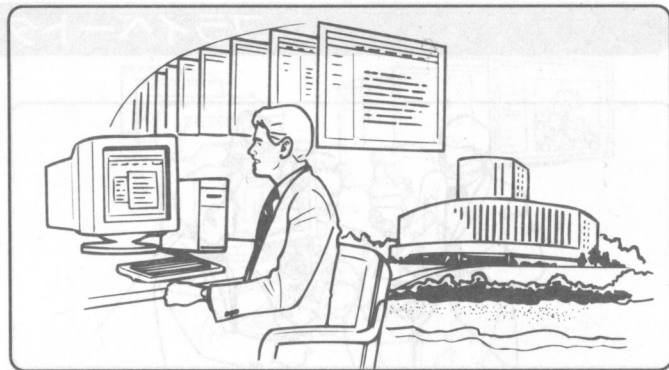
○月×日

- 今日は出張。今度のホテルの建設予定地の視察だ。現地の候補地を案内された。予定地を見終えた後、もう1ヶ所案内したいと言われる。
- 「そちらの条件を満たしていない点はいくつかあります。でも、ぜひ、見ていただきたいんですよ」
- 現地に行ってみて、納得した。敷地内の浜辺からの風景が素晴らしい。他の点で妥協することになっても、この風景にはそれだけの価値がある。
- わたしはデジタルカメラで、美しい夕焼けを撮影。デジタルだから、そのままノート型パソコン(PC)で、本社へ送れる。この写真がきっと、この候補地の数字だけではわからない価値を伝えてくれるだろう。

○月○日

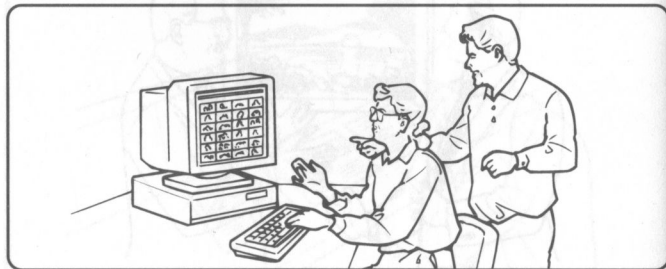
- 「しまった！　ゆうべコピーを取り忘れました」
- 空港で部下が叫んだ。わたしは他へ回るので、一足先に帰る部下に資料を持って帰らせることにしていた。だが、わたしも出張先で資料を検討したいので、コピーを取るよう言っておいたのだが……。
- 困った。部下の乗る飛行機の離陸時間はもう迫っている。その時、わたしはデジタルカメラの存在を思い出した。
- 「椅子に資料を並べろ！」
- そう言うと、わたしはデジタルカメラを取り出した。部下が待合室の椅子に並べた資料をマクロモードで接写。
- これで、今夜はゆっくり資料が検討できる。

○月▲日

- 先日の新たな候補地について、社長に説明しなければならない。わたしはプレゼンテーションソフトを使うことにした。
- デジタル写真はコンピュータと相性が良い。普通のカメラで撮影していたら、現像、焼き増し、スキャナ取込み。時間もかかるし、写真の質も落ちる。直接入力なら写真の質はそのままだ。
- 社長へのプレゼンテーションは、幸いにして、好評だった。やはり写真が効いた。1カット目は木の隙間からチラチラと海が見える風景。次のカットでは木に迫る。最後に眼前に海が広がる写真がディスプレイに映しだされると、会議室にどよめきが起った。成功だ！

○月△日

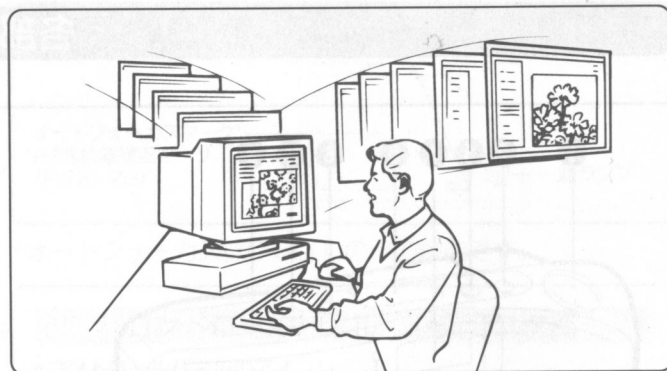
- いよいよホテルのオープンが近づいた。前人気は上々だ。
- 実はインターネットのホームページが役立った。ホテル建設が決まるとすぐにホームページに予告広告を出したのである。
- ふつうなら、あまり早い段階では広告したくても、見せる材料が大してない。この段階ではプロのカメラマンによる現地撮影写真もない。だが、今回はわたしが撮影した写真がある。デジタル写真は当然インターネットとの相性も抜群。
- 写真が新しいホテルのイメージをかきたてた。あの風景を好む客、まさにターゲットたる客の声が、次々、ホームページを通して届く。寄せられた声は即、ホテル計画に反映、納得のホテルが完成した。

プライベートタイムにエンジョイ。

○月×日
- 今日は姉さんの結婚式。ふだん会えない遠くの親戚たちも集まった。
- 僕はデジタルカメラを手に、写真を撮りまくった。
- 披露宴が終り、当人たちが着替えている間、親戚たちはおしゃべり。僕は、その場で次々写真をプリントアウト。撮影中、液晶モニターで撮影した映像を見て、うまく撮れていなかった分は撮り直したから、みんな良い顔で写っている。早速プリントをみんなに見せた。
- 「え？ インスタントカメラじゃないのに、その場で見られるの？」
- 「インスタントカメラじゃ、その場で焼き増しはできないだろ？」
- 僕はそう言って、集合写真を何枚もプリントして見せた。今夜立つ親戚も写真を持ち帰れたので、大好評だ。

○月○日
- 今日は先日の結婚式の写真の整理だ。
- パソコンのディスプレイにずらりと写真を並べて眺める。どの写真も自慢できる写真だ。ほれぼれ見ていると、母さんが顔を覗かせた。
- 「ほら、このカメラなら無駄な写真はないよ！」
- 「よかったわあ。これまではいったんプリントすると、失敗作も捨てられずにいたから、納戸まで写真に占拠されてきたんですものねえ」
- 母さんには、趣味のことで、いつも文句を言われてきた。
- 「さらにネガの保管という面倒からも解放されたんだよ！」
- 撮影したファイルはコンピュータに保存できる。
- 「昔からデジタルカメラがあればよかったのにね！」

○月▲日

• 昨日、山へデジタルカメラを持って出かけた。山の植物を撮影するのが目的だ。さまざまな植物を次々に撮影していく。やがて山深くでレンゲショウマを見つけた。まずは生えていた環境がわかるように引いて、周囲の風景を撮っておく。次にマクロワイドで全体を撮影。そして最後に、可憐な花をマクロアップで撮る。

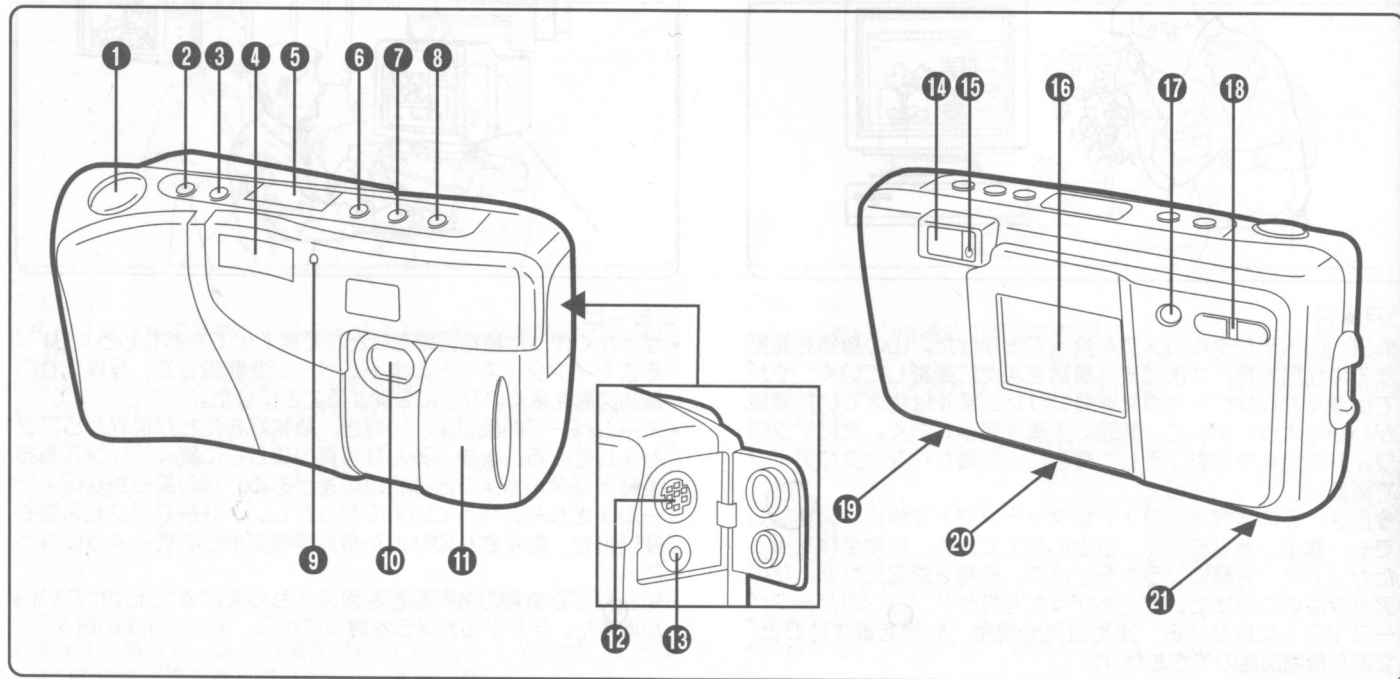
• 今日は、その写真を、フォトレタッチソフトで修正。暗室なしでも、修正、トリミング、自由に加工できる。植物全体を撮ったカットは、背景にブラシをかけて、植物を際立たせる。花のアップは切り抜きだ。できあがった写真をパソコンのデータベースソフトに取り込み、撮影日時や場所、感想を書き込むと、立派な植物図鑑のできあがり。

○月△日

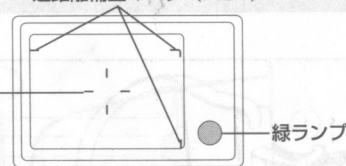
• せっかく作った植物図鑑をひとりで見ていてもおもしろくない。そこでインターネットのホームページを開設して、写真入りの植物図鑑を多くのひとに公開することにした。

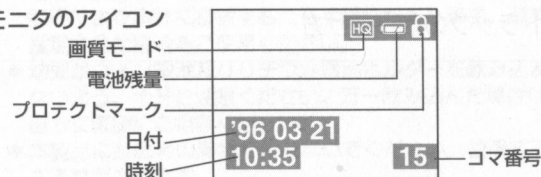
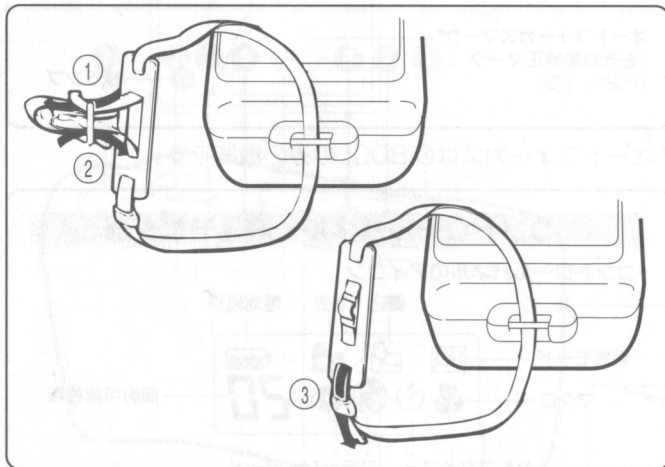
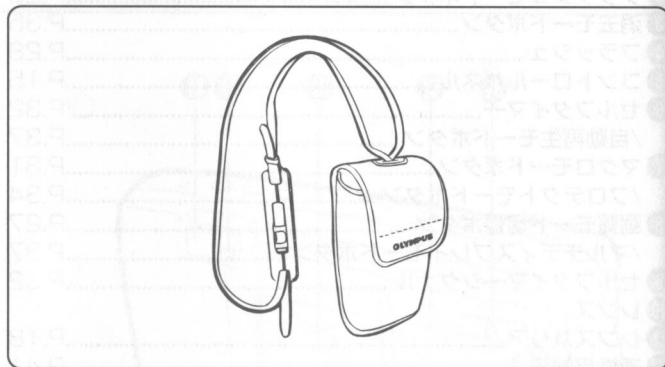
• ホームページ開設以来、山好き、植物好きたちが世界からアクセスしてくる。まず、みんな写真の美しさに驚く。レンズもお手軽デジタルカメラとは格段の差がある。花の柔らかなディテールがきちんと写っているのがうれしい。好評でアクセス数も多いので、たくさんのひとたちと情報交換ができるようになった。

• 知られざる植物の名所なども教えてもらえ、また出かけたい山が増えた。デジタルカメラを買ってから、まさに充実の日々。

撮影の準備をしましょう

各部の名称

カメラ本体

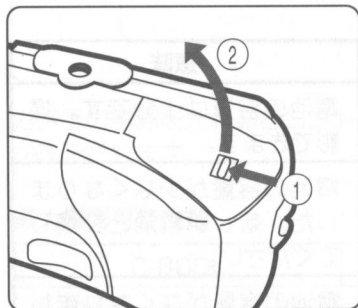
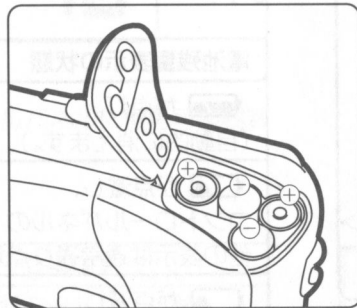
ファインダー部

* オートフォーカスはC-800Lのみの機能です。

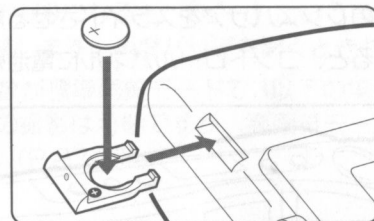
コントロールパネル・液晶モニタ部

ストラップ/ソフトケースの使い方

ストラップの取り付け方

ソフトケース

⚠ 注意

◆ 上記にしたがって正しい取り付けを行ってください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れて本体を落とした場合、損害等一切の責任は当社では負いかねますのでご了承ください。

電池を入れます

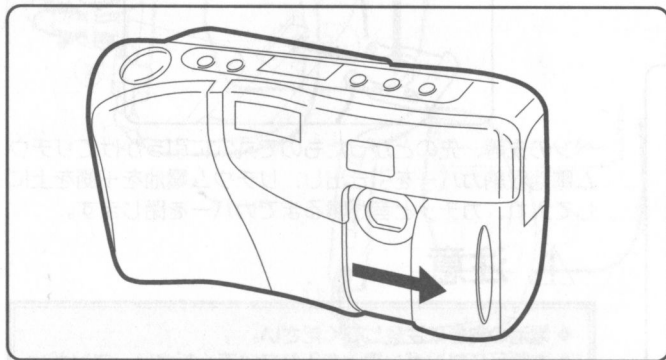
電池は単3アルカリ電池もしくは、単3ニッカド電池、単3ニッケル水素電池、単3リチウム電池を4本使用します。マンガン電池は使用できません。
電池に関するご注意をお読みください。(P.6参照)

1 電池カバーの開閉スイッチを左側にスライドさせ ①、上方に開けます②。
❑ 電池を入れる時は電源がオフになっていることを確認してください。

2 図のように電池の向きを正しく合わせて入れ、電池カバーを閉めます。

リチウム電池を入れます

ペンの先等、先のとがったもので丸穴に引っかけてリチウム電池収納カバーを引き出し、リチウム電池を+側を上にして入れ、カチッと音が鳴るまでカバーを閉じます。

⚠ 注意

- ◆ 電池の向きに注意してください。
- ◆ 本製品にマンガン電池を入れないでください。マンガン電池の使用は、電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱等により本体に損害をもたらす恐れがあります。必ず指定された電池をご使用ください。
- ◆ 幼児がコイン電池及びリチウム電池ホルダーを飲み込まないよう、十分ご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ◆ 本製品に金属等の異物を入れないでください。故障するおそれがあります。

電源を入れ、電池残量をチェックします

カメラ前面のレンズバリアをスライドさせるだけで電源が入ります。
電源を入れると、コントロールパネルに電池残量、撮影可能枚数などが表示されます。

<確認>

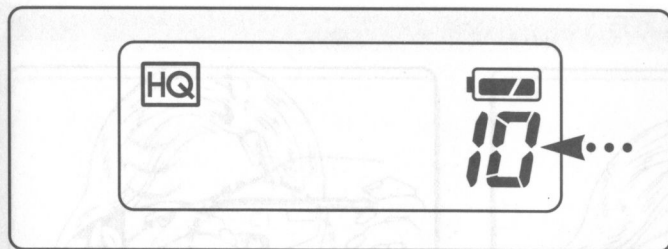
- なにも操作をしないまま、3分を経過すると、パワーセーブ機構が働き、電源は自動的に切れます。
- バリアを閉じ、再度バリアを開いて電源を入れるか、またはシャッターボタンを半押ししても電源は入ります。

レンズバリアを開けば電池残量の目安が次のように表示されます。

電池残量表示の状態	意味
▭ が点灯。（自動的に消えます。）	電池の容量は十分です。撮影できます。
▭ が点滅し、コントロールパネルの他の表示は通常通り点灯。	電池の容量が少なくなりました。新しい電池と交換してください。
▭ が点滅し（12秒後に消灯）、パネルの他の表示は消灯。	電池の容量がなくなりました。新しい電池と交換してください。

☞

長期の旅行、結婚式や、寒冷地などの撮影には予備の電池をご用意ください。

撮影可能枚数をチェックします

カメラの電源を入れるとコントロールパネルに撮影可能枚数が表示されます。

最大撮影可能枚数

C-800L	C-400L
高画質モード ....30枚 標準画質モード.......120枚	高画質モード.......20枚 標準画質モード...80枚

☞

撮影可能枚数を確認した後、パソコンに接続して日付、時刻を必ずあわせてください。(P.38参照)

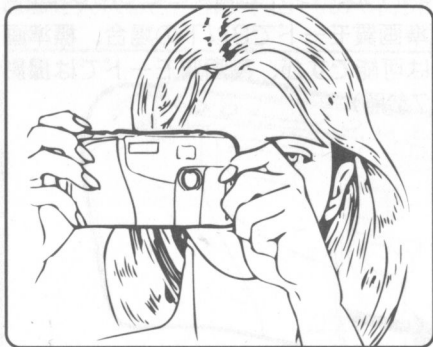
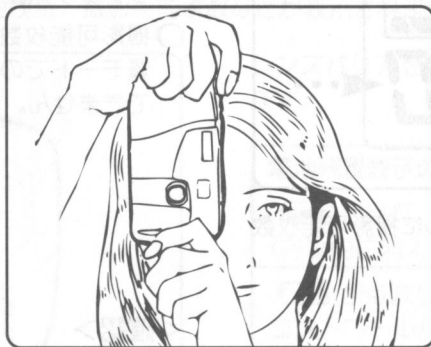
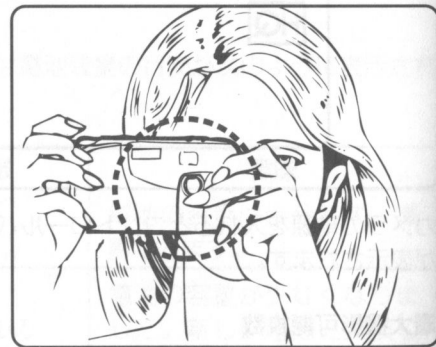
❍ 撮影可能枚数が0になると、「ピー」という音が鳴り、緑ランプが点滅します。再度バリアを開くときも同じです。

❍ 撮影可能枚数が標準画質モードで3以下の場合、標準画質モードでの撮影は可能ですが、高画質モードでは撮影できません。(P.27参照)

<確認>

- 撮影可能枚数は画質モードの設定によって表示が変わります。たとえば、標準画質モード設定時に撮影可能枚数が4の時、高画質モードでは1になります。(P.27参照)
- 撮り終えた画像は早めにパソコンにとりこみ（P.43参照)、カメラ内の画像をこまめに消去（P.35参照）することをお勧めします。

カメラに慣れましょう

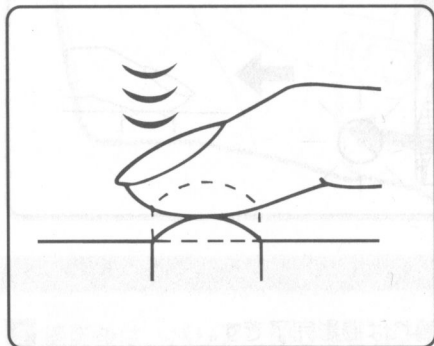
カメラの構え方

よこ位置

たて位置

悪い例

<確認>

- 両手でしっかりカメラを持ち、脇をしっかりしめます。
- たて位置のときは、フラッシュが上になるようにします。

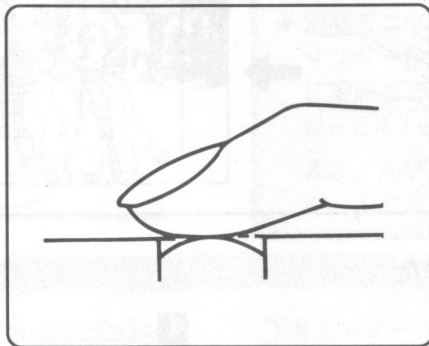
☞

レンズ、フラッシュに指やストラップがかからないようにご注意ください。

シャッターボタンの押し方

1 軽く押すと・・・（**半押し**）

❑ファインダー横の緑ランプが点灯します。

❑この時露出が固定されます。

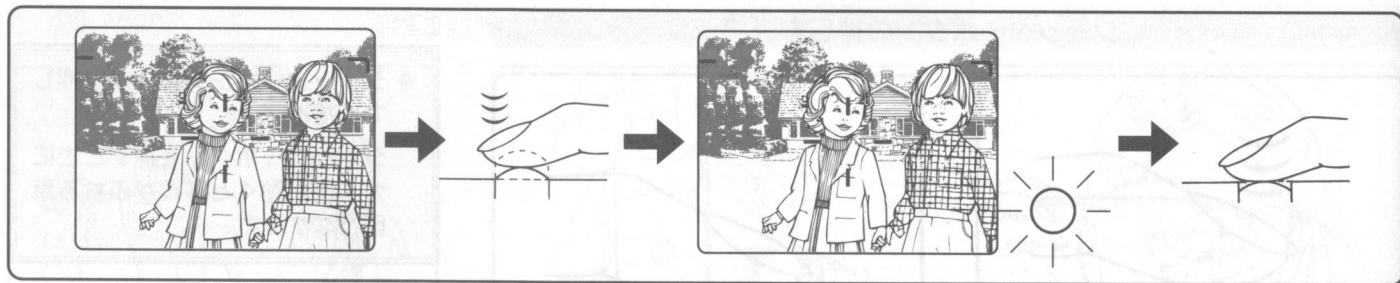
❑C-800Lでは、この時ピントも固定されます。

2 さらに押し込むと・・・（**押し切り**）

❑コントロールパネルの書込中マークが点滅し、ファインダー脇の緑ランプが点滅します。

◆ シャッターボタンは静かに押してください。

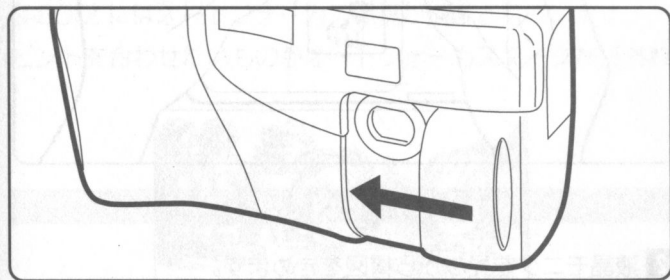
シャッターボタンを押すときにカメラが動くと写真がぶれる原因となります。

撮影しましょう

写します

光学ファインダーを使った撮影のしかた

1. ファインダーをのぞき構図をきめます。
2. シャッターボタンを半押しすると、ファインダー横の緑ランプが点灯します。
3. そのままシャッターボタンを押し切ります。
4. 「ピピッ」と音が鳴れば撮影完了です。
5. 書込中マーク、またはファインダー横の緑ランプの点滅が終わると、次の撮影に入れます。（書込中マークの点滅は高画質モード使用時で約6秒、標準画質モード使用時で約2秒たつと表示は消えます。）

⚠ 注意

◆ **書込中マークの点滅中に電池を抜かないでください。場合によっては今撮影した内容が記録されないだけでなく、撮影済みの内容が破壊される恐れがあります。**

6 撮影後は、バリアを閉じるとコントロールパネルの表示が消え、電源は切れます。

❏ 電源を切ったり、電池の交換を行っても、撮影した画像は保存されます。

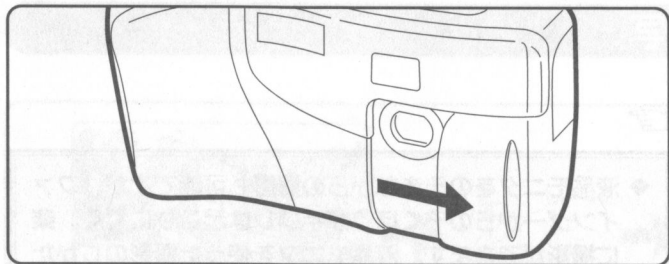
☞

◆ 液晶モニタをのぞきながらの撮影も可能ですが、ファインダーからのぞくほうが手ブレは起こりにくく、楽に撮影ができます。液晶モニタを使った撮影のしかたはP.24を参照してください。

また、光学ファインダーを使用した方が電池を消耗せず、より長く撮影が可能となります。

❍ 書込中マークの点滅は、画像を処理していることを表しています。書込中にシャッターボタンを押してもシャッターは切れません。

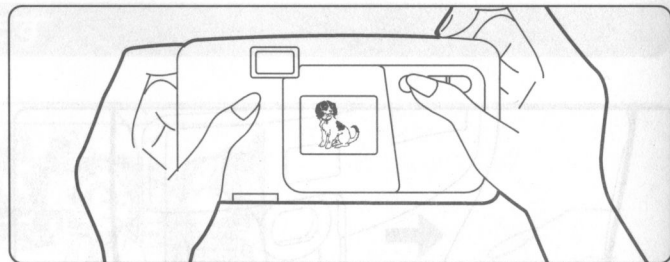
☞

◆ 電池を使用して電池の寿命末期に撮影した場合、撮影後「ピピッ　ピピッ　ピピッ」と連続して警告音が鳴り、コントロールパネルのコマ数表示が点滅する事があります。このような場合は撮影が正常に行なわれておりません。新しい電池に交換のうえ再度撮影を行なってください。

液晶モニタを使った撮影のしかた

1 レンズバリアを開いた状態で、液晶モニタON/OFF(緑)ボタンを押して液晶モニタを点灯させます。

❑ 液晶モニタは液晶モニタON/OFF(緑) ボタンを押している間のみ作動します。

⚠ 注意

◆ **液晶画面は強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく映らなくなったり、割れたりする恐れがありますので絶対におやめください。**

2 液晶モニタを見ながら構図をきめます。

☞

◆ **液晶モニタの再生画像は構図確認のためのもので、ピント・露出等の詳細な状態を表示できるものではありません。(ビューファインダーとして利用時及び、モニタ再生時共に) 特に大切なシーンの撮影では、必ずパソコンの画面で確認をしてください。**

<確認>

- ファインダーを使った撮影と同じ手順で撮影してください。(P.22参照)
- 液晶モニタを使って撮影をするときは、液晶モニタON/OFF (緑) ボタンを押したまま撮影してください。

フォーカスロック(C-800Lのみ)

C-800Lにはオートフォーカス機構が搭載されています。

ピントを合わせたいものがオートフォーカスマークから外れる場合は、以下の操作（フォーカスロック）をします。

オートフォーカスマーク

1 写したいものにオートフォーカスマークを合わせ、シャッターボタンを軽く押してピントを合わせます。

<確認>

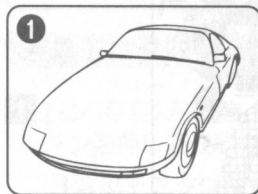
➧ファインダー横の緑ランプが点灯します。

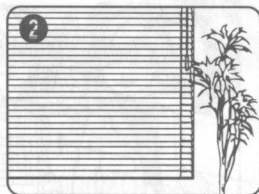
○この時に、露出も固定（AEロック）されます。

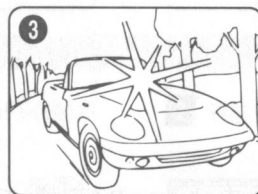
2 シャッターボタンを軽く押したまま写したい構図に変えて押し切ります。

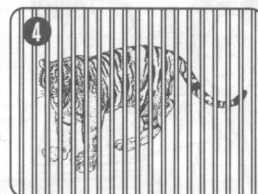
オートフォーカスの苦手な被写体（C-800Lのみ）

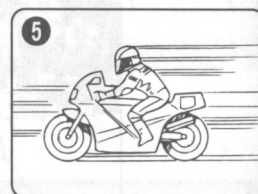
オートフォーカスが苦手な被写体

C-800Lはほとんどの被写体に対してオートフォーカスが可能ですが、以下❶〜❸のような条件ではピントが合わない時があります。また、❹、❺のような被写体では、ファインダー内の緑ランプが点灯しシャッターが切れても、ピントが合っていない時があります。その場合は以下の方法で撮影してください。

コントラストのない被写体

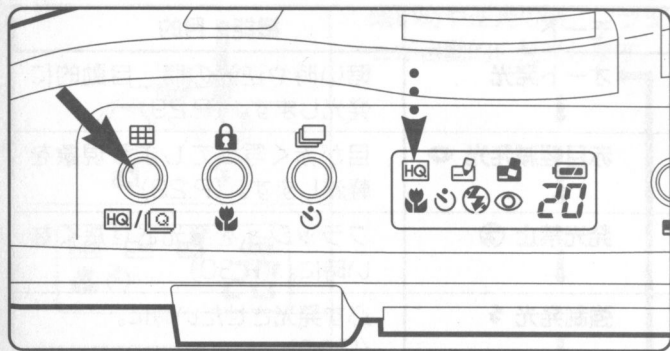
❍被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

縦線のない被写体

❍カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後構図を横にもどして撮影してください。

画面中央に極端に明るいものがある被写体

❍被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

遠いものと近いものが共存する被写体

❍オートフォーカスして緑ランプが点灯しても撮影したい被写体がぼけているときは、同じ距離にあるものでピントを固定してから構図を決めて撮影してください。

動きの速い被写体

❍あらかじめ撮影したい被写体と同じ距離にあるものでピントを固定してから、構図を決めて撮影してください。

画質モードを選択します

高画質モードと標準画質モードの2段階に画質を切り替えることができます。

画質モード切替ボタンを押すたびに、画質が交互に切り替わります。

高画質モード採用時
（コントロールパネルにHQと表示されます。）

1024 X 768ピクセル(C-800L)
640 X 480ピクセル(C-400L)

標準画質モード採用時
（コントロールパネルには何も表示されません。）

512 X 384ピクセル(C-800L)
320 X 240ピクセル(C-400L)

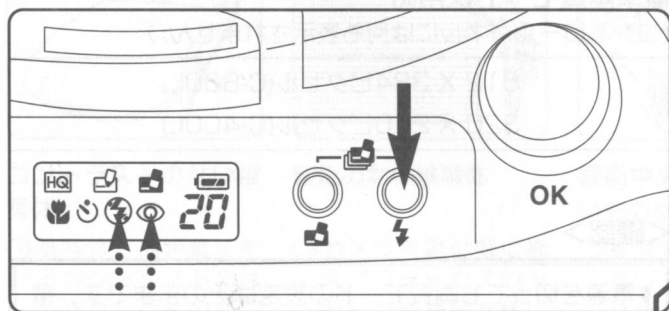
<確認>

- 電源を切っても画質モードの設定はそのままです。電池を交換した場合は、出荷時の設定に戻ります。
- 画質の設定によって撮影可能枚数が変わります。標準画質モードでは高画質モード設定時の4倍の撮影枚数が可能です。

フラッシュ撮影

このカメラには4つのフラッシュモードがあります。撮影状況・目的に合わせてお使いください。

モードの切り替え方

フラッシュモードボタンを押すごとに、右の順に切り替わります。

フラッシュモードはコントロールパネルに表示されます。
いったんレンズバリアを閉じると、発光禁止、強制発光はオート発光に戻ります。

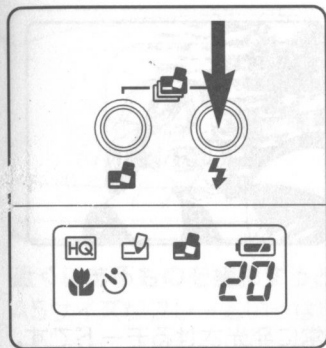
モード	機能・目的
オート発光	暗い時や逆光の時、自動的に発光します。(P.29)
赤目軽減発光	目が赤く写ってしまう現象を軽減します。(P.29)
発光禁止	フラッシュを発光させたくない時に。(P.30)
強制発光	必ず発光させたい時に。(P.30)

フラッシュ撮影可能範囲

C-800L	0.2 m ～ 2.4 m
C-400L	0.2 m ～ 3.5 m

緑ランプが点滅している時は、フラッシュ充電中のためシャッターが切れません。いったんシャッターボタンから指を離し、数秒待ってから撮影してください。

オート発光

暗い時や逆光の時、フラッシュが自動的に発光します。

逆光自動補正マーク

逆光の被写体を撮影するときは、被写体を逆光自動補正マークに合わせて撮影してください。

赤目軽減発光

目が赤く写る現象を軽減します。

本発光の前に10数回予備発光を行い、目が赤く写ってしまう現象を起こりにくくします。予備発光をする以外はオート発光と同じです。

◆ シャッターが切れるまで約1秒かかりますので、カメラをしっかり構えてください。

◆ 以下の場合は、赤目軽減の効果が現れにくくなります。
- フラッシュを正面から見ていない場合
- 予備発光を見ていない場合
- 被写体までの距離が遠い場合
- 個人差による場合

発光禁止

暗いところでも発光させたくない時に

このモードでは暗くてもフラッシュは光りません。フラッシュを使えない美術館や夕景、夜景などで撮影するときに使います。

☞

> ◆ シャッタースピードが最長1/8秒まで延長されますのでカメラぶれを防ぐため、三脚のご使用をお勧めします。動く被写体はぶれて写ります。

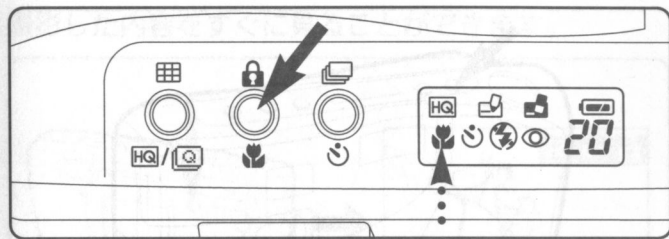
強制発光

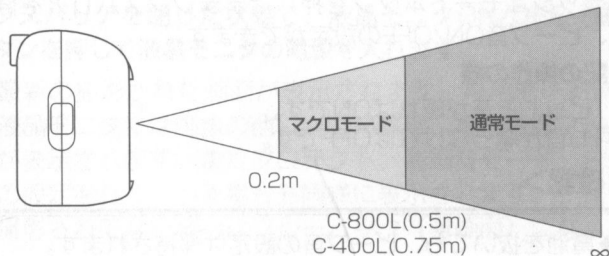
必ず発光させたいときに

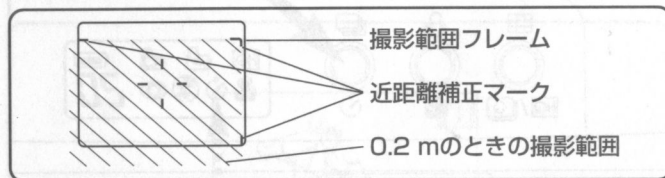
強制発光モードはフラッシュを常に発光させるモードです。木かげなどで顔にかかった陰をやわらげるときや、逆光、蛍光灯などの人工照明下での撮影のときなどに使います。

<確認>

> ◆ フラッシュ撮影可能範囲（P.28）内で撮影してください。かなり明るい状況下では効果があらわれにくくなります。

マクロモード

近くにあるものを撮影するときはマクロモードを使います。
A5サイズがフレームいっぱいに撮ることができます。

マクロモードボタンを押すたびに、通常モードとマクロモードの切り替えができます。

撮影距離

近距離補正

撮影範囲フレームは∞（無限遠）時に写る範囲ですが、撮りたいものまでの距離が近づくにつれて写る範囲が左下に移動します。0.2 mの時は近距離補正マーク内（斜線の範囲）が実際に写る範囲となります。

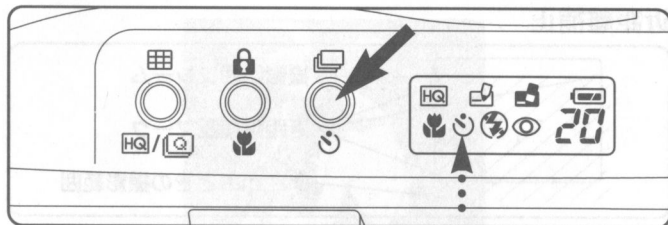
撮影は 0.2 m ～ ∞(無限遠) の範囲で行ってください。

❍ 0.2 mより近い距離ではシャッターは切れますが、ピントと露出は合いません。

❍ 液晶モニターをファインダーとして使用する場合は、撮影する絵がそのままモニターに表示されますので、近距離での撮影が容易にできます。

撮影距離

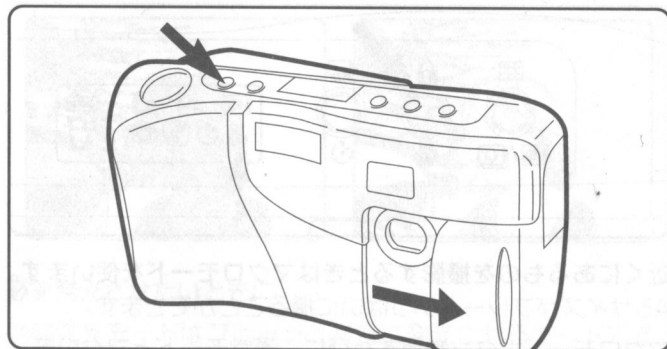
モード	C-800L	C-400L
マクロモード	0.2 m ～ 0.5 m	0.2 m ～ 0.75 m
通常モード	0.5 m ～ ∞	0.75 m ～ ∞

セルフタイマー

1 セルフタイマーボタンを押し、セルフタイマーマークを表示させます。
❑ カメラを三脚などにしっかりと固定してください。

2 シャッターボタンを押します。
❑ 約12秒後にシャッターが切れます。

<確認>

- ピント(C-800Lのみ)と露出はシャッターボタンを半押しした時に固定されます。
- 撮影後は、セルフタイマーモードは解除されます。
- 作動中のセルフタイマーを途中で中止したいときはセルフタイマーボタンを再度押してください。

ビープ音の設定

ビープ音の設定のしかた

フラッシュモードボタンを押したままレンズバリアを開くと、ビープ音ON/OFFの設定ができます。

上記の操作の際

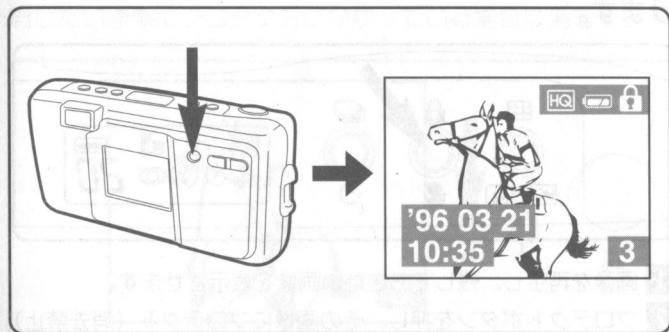
- 「ピッ」と音が鳴ればONです。
- 何も音が鳴らなければOFFです。

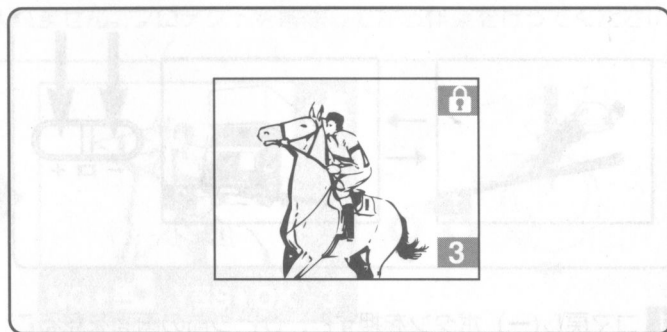
<確認>

- 電池を抜いても、ビープ音の設定は保持されます。

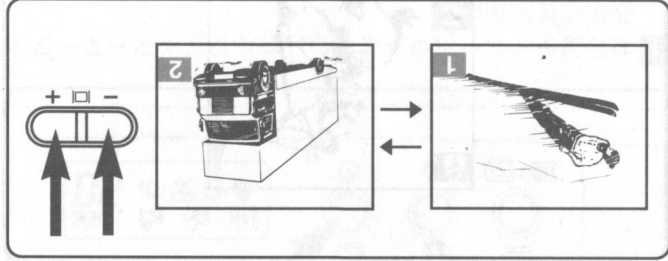
液晶モニタで再生してみましょう

液晶モニタの電源を入れます

撮影した内容をすぐに見ることができます。

レンズバリアを閉じた状態で、液晶モニタON/OFF（緑）ボタンを押して液晶モニタの電源を入れます。

❍最新の撮影された画面が表示されます。再生モード時、液晶モニタには画像の他に、コマ番号、電池残量マークが表示されます。またプロテクト、高画質モード、日時の設定を行っている場合も同様に表示されます。一枚も撮影されてない場合はブルーバック（青画面）になります。

❍高画質モードマーク、電池残量マーク、日時は3秒たつと消灯します。電池残量が残り少ない場合、液晶モニタに電池残量警告のマークが点滅します。

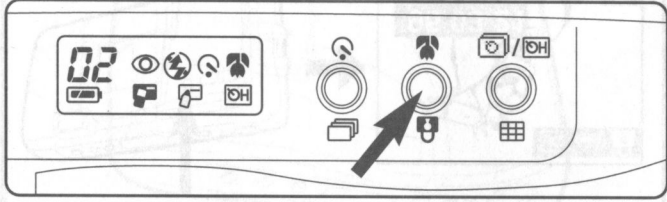
コマ再生

撮った画像を再生します。

1 コマ戻し(−) ボタンを押すと、ひとつ前の画面を見ることができます。コマ戻し(−) ボタンを押すたびに前に順送りをすることができます。

2 コマ送り(+) ボタンを押すと次の画面を見ることができます。

❑ コマ送り(+) ボタンを押すたびに、後ろに順送りをすることができます。

プロテクト

残しておきたい画像にプロテクト（消去禁止）をかけます。

1 画像を再生し、残しておきたい画像を表示させます。

2 プロテクトボタンを押し、その画像にプロテクト（消去禁止）をかけます。

❑ プロテクトマークが画面右上に表示されます。

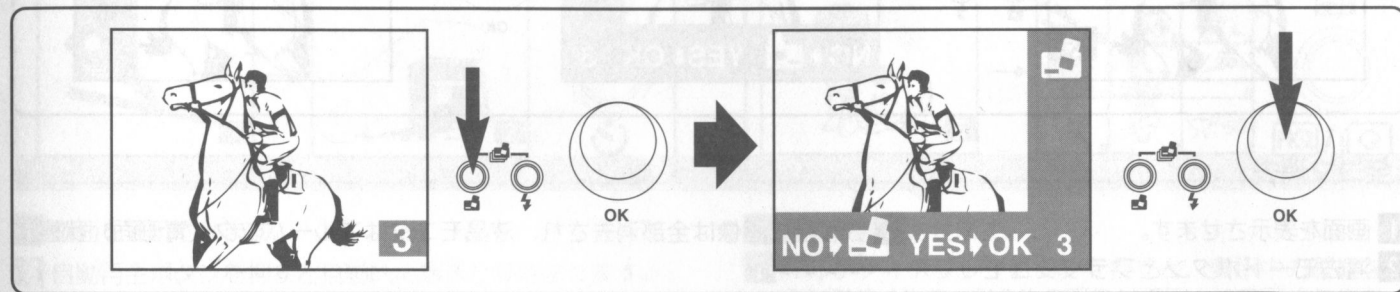
3 プロテクトを解除するには、再度プロテクトボタンを押します。

❑ プロテクトされた画像は、再度プロテクトボタンを押し、解除されるまで消去されることはありません。

❑ マルチディスプレイモード（P.37）でもプロテクトの設定、解除ができます。

画像の消去

消したい画像を消去します。

消したい画像にプロテクトがかかっている場合は消去モードには入れません。プロテクトを解除してから作業を行ってください。

一コマ消去

1 消したい画面を表示させます。

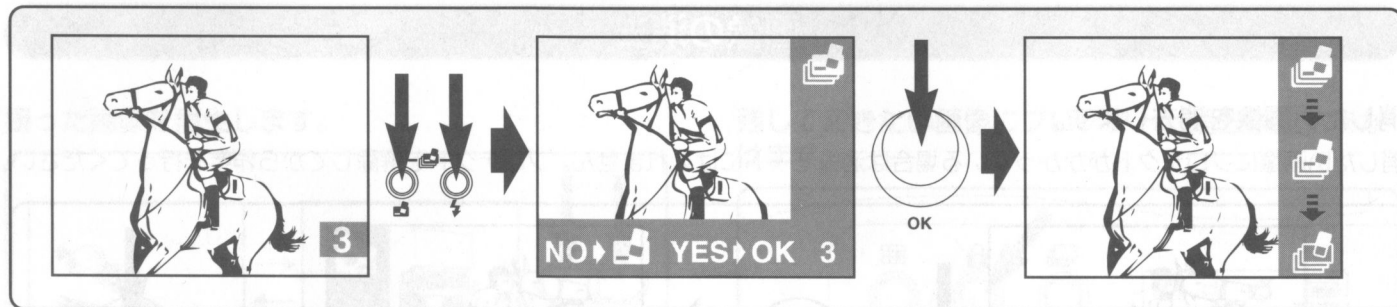
2 消去モードボタンを押すと、一コマ消去マークが画面の右上に点灯します。

❑ ここでもう一度消去モードボタンを押すと、一コマ消去モードを中止することができます。

3 OK(シャッター)ボタンを押します。

❑「ピッ」という音がして画面が消去され、その前のコマが表示されます。

⚠ 注意

◆ **消去中に電池を抜くと全ての画像が失われることがありますので十分ご注意ください。**

全コマ消去

1 画面を表示させます。

2 消去モードボタンとフラッシュモードボタンを同時に押すと、全コマ消去マークが画面右上に点灯します。

❏ ここで消去モードボタンを押すと、全コマ消去モードを中止することができます。

3 OK(シャッター)ボタンを押します。

❏「ピッ」と音がして全コマ消去マークが画面右側で下に降りていきます。

4 数秒後に画像は全部消去され、液晶モニタはブルーバック（青画面）状態になります。

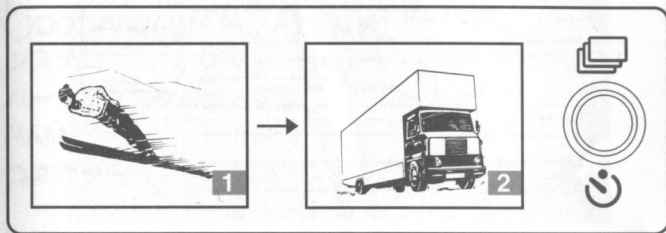
❏ プロテクトのかかっているコマがあればそのコマは残り、全コマ消去後画面に表示されます。

❏ マルチディスプレイモード(P.37)でも全コマ消去ができます。

⚠ 注意

◆ 誤って消去不要のものまで消してしまうことのないよう、十分ご注意ください。
◆ 消去中に電池を抜くと全ての画像が失われることがありますので十分ご注意ください。

自動再生モード

撮った画像を自動的に順送りして見ることができます。

1 画面を表示させせます。

2 自動再生ボタンを押すと自動的に順送りが始まります。

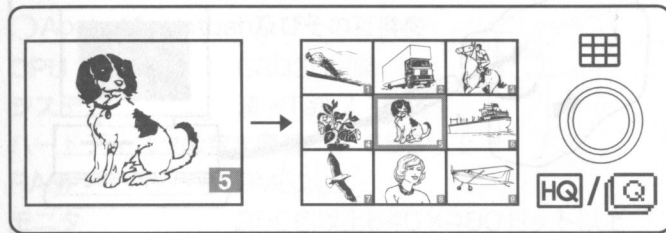
❏ 画面には撮った画像の他に、コマ番号、プロテクトマークのみが表示されます。

3 もう一度自動再生ボタンを押すと表示されている画面で停止します。

❏ 自動再生モードは一巡しても止まりません。自動再生ボタンを押して終了させてください。

❏ マルチディスプレイモードでも自動再生が可能です。

マルチディスプレイモード

9つまでの画像を画面上で一度に見ることができます。

1 画面を表示させせます。

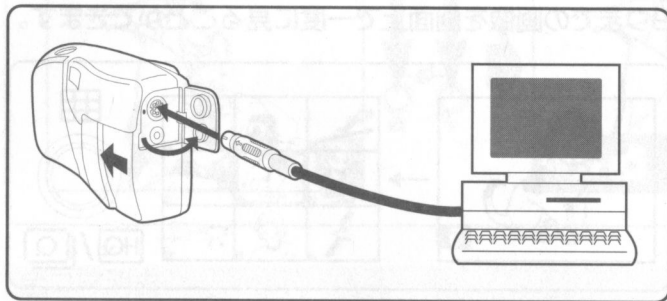
2 マルチディスプレイボタンを押すと、表示中の画像を中心に前後4枚ずつ計9枚の画像が画面上に表示されます。

3 コマ戻し(−) ボタンを押すごとに画像選択のワクがコマ番号の少ないほうに順次移動します。

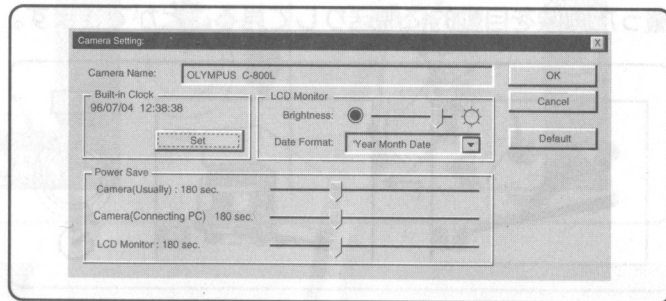
❏ コマ送り(+) ボタンは反対に進みます。

4 画像選択ワクが画面左上に到達後、上の6つの画像が加わって表示されます。(コマを送っている場合は画面右下に到達後、新たな画像が追加されます。)

5 もう一度マルチディスプレイボタンを押すと選択されている画像が表示されます。

日付のあわせかた

別売のパソコン接続キット FDバージョンに添付されているユーティリティソフトウェアを使用する場合

1. カメラをパソコンに接続します。(P.41参照)
2. アプリケーションソフトを立ち上げます。(P.40参照)
3. パソコン画面のタイトルバーの“カメラ”から“カメラ設定”を選ぶと、カメラ設定ウィンドウが表示されます。
4. カメラ設定ウィンドウの指示に従って、日付・時刻を設定します。

PhotoDeluxeバージョンのパソコン接続キットの場合も同様に日付を設定できます。

<確認>

- ◆ **デジタルカメラ単体では日付・時刻の設定はできません。**
- ◆ **パソコンで日付を設定しない限り、液晶モニタに日付は表示されません。**
- ◆ **リチウムコイン電池を入れ替えたら、必ずパソコンに接続して日付・時刻の設定を行ってください。**
- ◆ **大切な撮影の前には、日付・時刻の確認をされることをお勧めします。**

画像をとりこみましょう

パソコンの使用環境

パソコンは以下の条件でカメラと使用可能です。

○DOS/V機(IBM PC/AT互換機)

システム　：　Windows 95またはWindows 3.1
ハードディスクの空き容量　：　3MB以上
RAM　：　8MB以上
コネクター　：　標準RS-232Cインターフェイス
D-SUB 9ピンコネクター
モニタ　：　256色以上640×480ドット以上
推奨32000色以上

○NEC PC-98及びその互換機

システム　：　Windows 95またはWindows 3.1
ハードディスクの空き容量　：　3MB以上
RAM　：　8MB以上
コネクター　：　標準RS-232Cインターフェイス
D-SUB-25ピンコネクター
モニタ　：　256色以上640×480ドット以上
推奨32000色以上

○Apple Macintosh及びその互換機

CPU　：　68030以降
システム　：　漢字Talk7.1以降
ハードディスクの空き容量　：　3MB以上
RAM　：　8MB以上
モニタ　：　256色以上640×480ドット以上
推奨32000色以上

アプリケーションソフトの主な機能

別売のパソコン接続キット FDバージョンに添付されているユーティリティソフトウェアを前ページのパソコンにインストールすると、撮影した画像をパソコンにダウンロードし、表示、加工、保存、その他いろいろな機能を楽しめます。

上記のユーティリティソフトウェアには以下の5つの機能があります。インストール方法や操作手順については、ソフトウェアのユーザーズガイドをご参照ください。

■カメラとの通信

RS-232Cを介し、パソコン側からコマンドを送信することにより、カメラ内画像ファイル、サムネールのダウンロードを行います。また、カメラ本体からの疑似動画表示、録画機能、パソコン側からのカメラのフルコントロール(撮影、データ消去、日付時刻の設定およびその表示方法の設定、液晶モニタの輝度調整、その他設定変更等)もサポートしています。

■画像ビューワー

カメラからダウンロードした画像、サムネール、ディスク上の画像ファイルを表示します。

■フォーマット変換

JPEG(JFIFーカメラデータ)、J6I(VCシリーズ)、BMP(Windows版のみ)、PICT(Macintosh版のみ)、TIFF(Adobe Photoshopで取り扱い可能)のファイル間で相互にフォーマット変換が可能です。

■小加工

回転(90゜時計回り、90゜反時計回り、180゜)、カラーデプスの変更(24 bit → 8 bit → 8 bit Gray → 1 bit)、リサイズ(拡大、縮小、ソフトウェア上のサイズ制限なし)、色温度の変更(メニューからの選択)が可能です。

■印刷

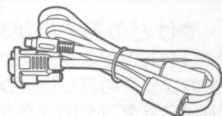
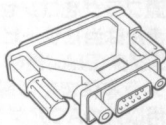
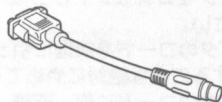
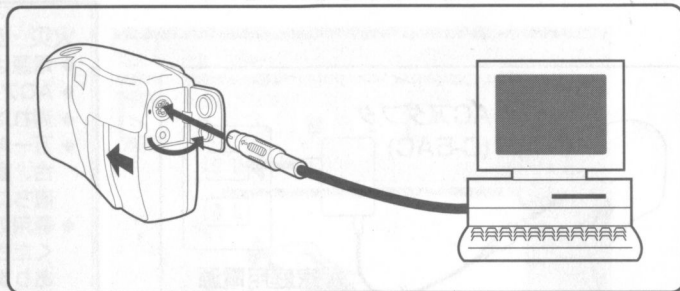
単画像印刷の他、サムネール印刷、A4レイアウト印刷(4ショットを自動レイアウト)を行います。

<確認>

◆ **ソフトウェア使用の際、ソフトの種類によって機能が若干異なります。詳しくはソフトウェアのユーザーズガイドをご参照ください。**

パソコンとの接続のしかた

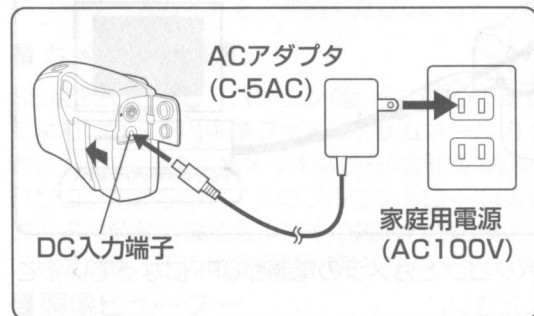
ご使用のパソコン機種によって、接続方法が異なります。

◯DOS/V機(IBM PC/AT互換機)
パソコン側の“COM1、COM2”等と書かれたシリアルポートに、別売のパソコン接続ケーブルをそのまま接続します。

◯NEC PC-98及びその互換機
パソコン側の“RS-232C”と書かれたシリアルポートに別売の98用変換コネクターを接続し、さらに別売のパソコン接続ケーブルを接続します。

◯Apple Macintosh及びその互換機
パソコン側の“🖶”と書かれたシリアルポートに別売のMAC用変換コネクターを接続し、さらに別売のパソコン接続ケーブルを接続します。

注) パソコン接続キット(C-1KP、C-1KF)に同梱されている、Macintosh用変換アダプタは、デジタルカメラとMacintoshの接続専用です。Macintoshとプリンタの接続には使えません。

接続の前に、パソコンとカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

1. 左記のそれぞれの接続方法に従って、パソコン接続ケーブルをパソコンのシリアルポートに接続します。
2. コネクターカバーを開けます。
3. パソコン接続ケーブルのプラグの矢印をカメラ側コネクターの丸印に合わせ、プラグを最後まで押し込みます。
4. レンズバリアを開け電源をONにします。

家庭用電源の使い方

別売の専用ACアダプタ(C-5AC)で、家庭用電源(AC100V)から電源を取ることができます。

☞

◆ ACアダプタを長時間接続するとACアダプタ本体が少し熱を持ちますが、故障ではありません。

⚠ 警告

火災・感電・やけどのおそれがあります。

◆ 電源は必ずAC100Vをご使用ください。
◆ ACアダプタのプラグの差し込みが不完全な状態では使用しないでください。
◆ 濡れた手でのACアダプタのプラグの抜き差しは絶対にしないでください。
◆ 万一ACアダプタやコードが熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常が発生した場合、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。また、直ちに販売店または当社サービスステーションにご相談ください。
◆ 専用のACアダプタ(EIAJ規格・極性統一型プラグ付)以外は絶対に使わないでください。カメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故が起きる可能性があります。専用以外のACアダプタの使用により生じた障害は保証しかねますので、あらかじめご了承ください。
◆ ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタの本体を持って行ってください。
◆ ACアダプタのコードを無理に引っ張ったり、折り曲げたり、ねじったり、継ぎ足したりすることは絶対にやめてください。
◆ ACアダプタのコードに傷、断線、またはプラグに接触不良があったりした場合は、すぐにお買い上げの販売店にご相談ください。
◆ ACアダプタを接続したり外したりする場合は、必ず本体の電源がOFFになっていることを確認してください。
◆ カメラに電池が入っている場合も、必ず本体の電源がOFFの状態でACアダプタの接続、取り外しを行ってください。
◆ 使用しないときは、必ずACアダプタをコンセントから外してください。

パソコンに接続すると…

別売のパソコン接続キット FDバージョンに添付されているユーティリティソフトウェアを使用する場合

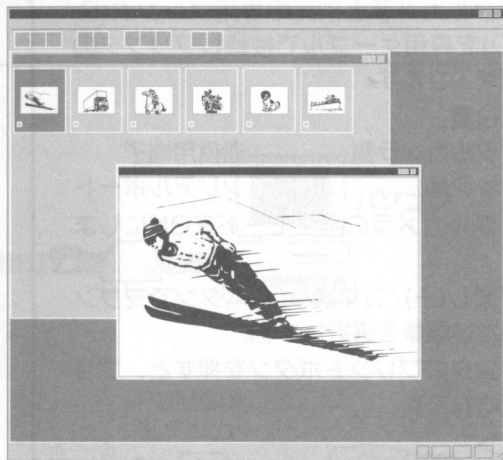
1 アプリケーションソフトを起動します。

2 サムネールを呼び出します。

3 サムネールを選んで、1枚または全コマのデータを呼び出します。

4 呼び出したデータを保存またはプリントします。

5 残った不要なデータは消去し、アプリケーションソフトを終了します。

- 機能の詳細は、アプリケーションソフトのユーザーズガイドをご参照ください。
- パソコンに接続したときは、カメラのボタン類は一切動作しなくなります。
- 再生モードが選ばれている場合、通信はできません。
- PhotoDeluxeバージョンのパソコン接続キットの場合にも同様な機能があります。

専用プリンタに接続すると…

デジタルカメラのレンズバリアを閉じた状態で操作を行ってください。

1 デジタルカメラと別売の専用プリンタ(P-150)を専用ケーブルで接続しプリンタの電源を入れます。

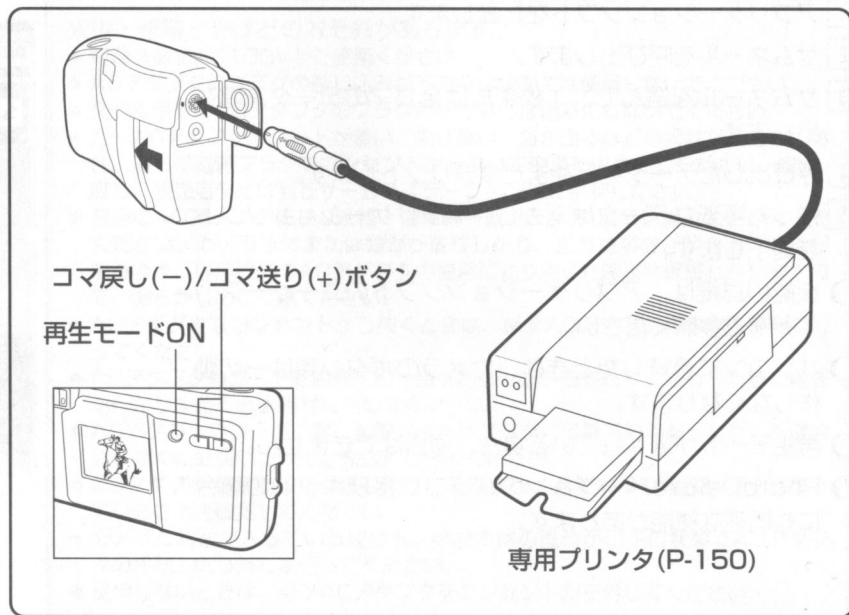
❍ **接続位置**
デジタルカメラ側................通信用端子
プリンタ側...........................シリアルポート

2 デジタルカメラの再生モードをONにします。

3 コマ戻し(−)/コマ送り(+)ボタンでプリントしたい画像を選択します。

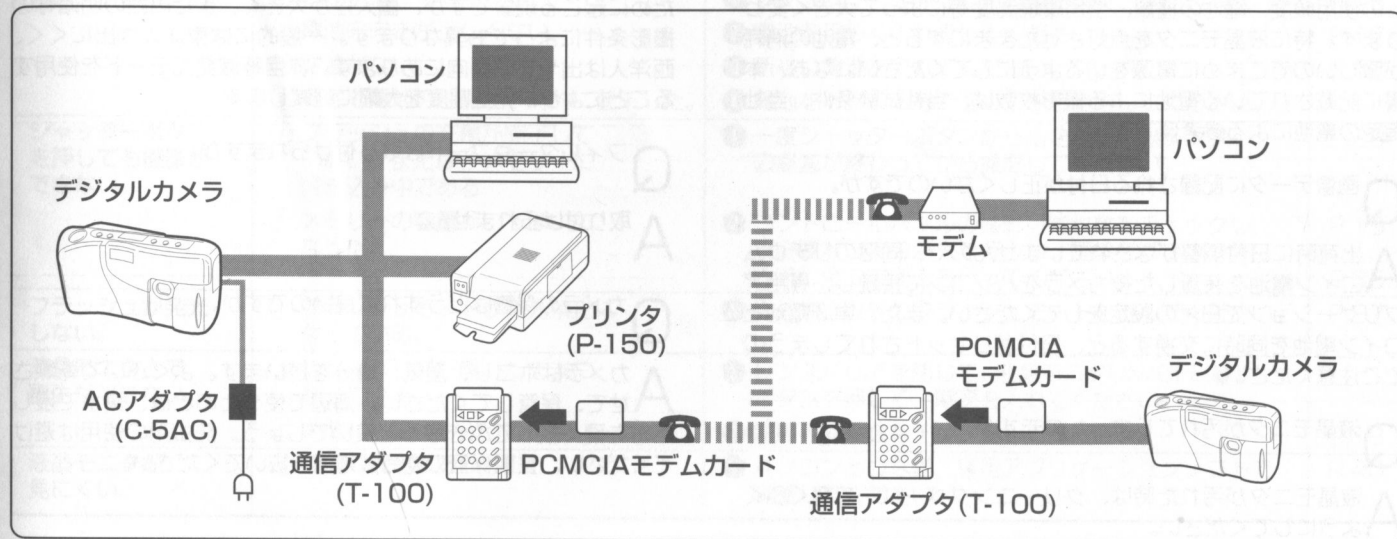
4 プリンタのプリントボタンを押すと、プリントされます。

<確認>

▶マルチディスプレイモードでは印刷はできません。印刷中は液晶モニタ画面は消灯します。

システムチャート

別売の機器とシステムを組むと、以下のことが可能です。

❍専用プリンタと組み合わせて、撮影画像をダイレクトプリント

❍通信アダプタを介してデータの伝送、PCMCIAカードへのデータ保存

その他

Q & A

Q 電池はどの位もちますか。

A 100コマ以上の撮影が可能です(フラッシュ50%使用時)。但しこれは一応の目安で、液晶モニタの使用時間、フラッシュの使用頻度、電池の種類、使用環境温度等によって大きく変わります。特に液晶モニタを点灯させたままにすると、電池の消耗が激しいのでこまめに電源を切るようにしてください。なお、本書に記載されている電池による撮影枚数は、当社試験条件、当社指定の電池による参考値です。

Q 画像データに記録される日付が正しくないのですが。

A 出荷時に日付調整がなされていませんので、同梱のリチウムコイン電池を装着した後カメラをパソコンに接続し、専用アプリケーションで日付の設定をしてください。また、単3電池とコイン電池を同時に交換すると、日付がリセットされてしまうのでご注意ください。

Q 液晶モニタが汚れてしまったのですが。

A 液晶モニタが汚れた時は、クリーニングペーパーで軽くふくようにしてください。

Q フラッシュを使用し、人物撮影をしたら目が赤く写ってしまったのですが。

A どのカメラでもフラッシュを用いた人物撮影では目が赤く写ることがあります。これは網膜がフラッシュの光を反射するために起こる現象ですが、個人差が大きく、また周囲の明暗等の撮影条件によっても異なります。一般的には東洋人は出にくく、西洋人は出やすい傾向にあります。赤目軽減発光モードを使用することにより、発生頻度を大幅に軽減します。

Q フィルターやフードは取り付けられますか。

A 取り付けられません。

Q カメラの保管はどうすれば良いのですか。

A カメラはホコリ、湿気、塩分を嫌います。よくふいて乾燥させて、保管してください。海辺で使ったあとは、真水で浸した布を硬く絞ってふき取ると良いでしょう。防虫剤の使用は避けてください。長期保管の場合は電池を抜いてください。

修理に出す前にお確かめください

操作上のトラブル

こんなときには…	原因	こうしましょう	参照ページ
カメラが動かない。	① OFF状態になっている。	❶ レンズバリアを開けて、電源をONにしてください。	P.18
	② 電池の向きが正しくない。	❷ 電池を正しく入れ直してください。	P.17
	③ 電池がない。	❸ 新しい電池を入れてください。	P.17
	④ 寒さで電池の性能が一時的に低下した。	❹ 電池をポケット等で温めてから使用してください。	
シャッターボタンを押しても撮影ができない。	① フラッシュの充電が完了していない。または、メモリーに書き込み中である	❶ 一度シャッターボタンから指を離し、緑ランプの点滅が終わってから撮影してください。	P.28
	② メモリーの容量がいっぱいになった。	❷ コントロールパネルの撮影可能枚数をチェックし、不必要なコマの消去を行うか、画像をパソコン等に転送し全コマ消去を行ってください。	P.19 P.35
フラッシュが発光しない。	① フラッシュモードが発光禁止になっている。	❶ 発光禁止以外のフラッシュモードを選んでください。	P.27
液晶モニタ上で再生ができない。	① レンズバリアが開いたままになっている。	❶ レンズバリアを閉じて、液晶モニタON/OFF(緑)ボタンを押して、電源を入れてください。	
	② メモリーに何も入っていない。	❷ 撮影可能枚数をチェックしてください。	P.19
液晶モニタが見にくい。	① 輝度の設定がおかしい。	❶ パソコンとつなぎ、専用アプリケーションソフトで調整してください。	P.40

こんなときには…	原因	こうしましょう	参照ページ
パソコンとつないだとき、データ転送中にエラーメッセージが出る。	① ケーブルが正しく接続されていない。	❶ 正しく接続されていることを確認してください。	P.41
	② カメラの電源がOFFになっている。	❷ カメラのバリアーを開けて、電源をONにしてください。	P.18
	③ 電池がない。	❸ 新しい電池を入れてください。	P.17
	④ パソコンのシリアルポートが正しく設定されていない。	❹ パソコンでシリアルポートが正しく設定されていることを確認してください。	P.41

画像の出来が良くない場合

こんなときには…	原因	こうしましょう	参照ページ
ピントの合っていない写真ができた。	① シャッターボタンを押すときにカメラが動いてしまった。(カメラぶれ)	❶ カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押してください。	P.20
	② ピントを合わせたいものが、オートフォーカスマークからずれてしまった。(C-800Lのみ)	❷ ピントを合わせたいものを画面中央に持ってくるか、フォーカスロック撮影を行ってください。(C-800Lのみ)	P.25
	③ レンズが汚れていた。	❸ レンズをきれいにしてください。	

こんなときには…	原因	こうしましょう	参照ページ
ピントの合っていない写真ができた。	④使用しているモードが違っていた。通常モードで最短撮影距離(0.5m<C-800L>/0.75m<C-400L>)よりも近くで撮影してしまった。または遠くにある被写体をマクロモードで撮影してしまった。	❹通常モードで撮影の場合、最短撮影距離より離れて撮影するか、0.2~0.5m(C-800L)/0.2~0.75m(C-400L)に被写体がある場合はマクロモードを使ってください。	P.31
	⑤セルフタイマー撮影で、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した。	❺カメラの前に立たず、ファインダーをのぞきながらシャッターボタンを押してください。	
できあがった画像が暗い。	①フラッシュを指などで覆ってしまった。	❶カメラを正しく構え、フラッシュを覆わないように気を付けてください。	P.20
	②撮りたいものがフラッシュ撮影範囲よりも遠くにあった	❷フラッシュ撮影可能範囲内で撮影してください。	P.28
	③フラッシュモードが発光禁止になっていた。	❸フラッシュのモードを確認してから撮影してください。	P.28
	④逆光状態で小さい被写体を撮影した。	❹フラッシュのモードを強制発光モードにセットして撮影してください。	P.30

こんなときには…	原因	こうしましょう	参照ページ
できあがった画像が明るすぎる。	① フラッシュモードが強制発光になっていた。	❶ 強制発光以外のフラッシュモードを選んでください。	P.28
	② 高輝度の被写体に向かって撮影した。	❷ カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。	
室内で写した写真の色がおかしい。	① 照明の色が影響した。	❶ フラッシュのモードを強制発光にセットして撮影してください。	P.30
画像の一部が欠けてしまった。	① レンズに指やストラップがかかってしまった。	❶ カメラを正しく構え、レンズに指やストラップをかけないように気を付けてください。	P.20
	② 撮影距離が近かった。	❷ ビューファインダー内の近距離補正マークを使ってください。または、液晶モニタを使ってください。	P.31

アフターサービスについて

■保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上大切に保管してください。

■本製品に関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または裏表紙の当社サービスステーションにご相談ください。

▶使用説明書等にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満一ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

■保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。

▶また運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

■当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間を目安に当社では保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店また、お近くの当社サービスステーションにお問い合わせください。

液晶画面のバックライトについて

■本製品のコントロールパネル、及び液晶モニタに使用されている液晶画面のバックライトの蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらつき始めたら、当社サービスステーションにお問い合わせください。(修理は有料となります。)

■一般に低温になるにしたがってバックライトは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したバックライトは、常温に戻ると回復します。

主な仕様

項目	仕様
形式	デジタルカメラ(記録・再生型)
記録方式	デジタル記録
記録媒体	内蔵フラッシュメモリー
C-800L	6MB
C-400L	2MB
記録コマ数	
C-800L	30枚(高画質モード)、 120枚(標準画質モード)
C-400L	20枚(高画質モード)、 80枚(標準画質モード)
消去	1コマ消去、全コマ消去
撮像素子	1/3インチCCD固体撮像素子
C-800L	81万画素(総画素数)
C-400L	35万画素(総画素数)
記録画像	
C-800L	1024 X 768 ピクセル (高画質モード)
C-400L	640 X 480 ピクセル (高画質モード)
ホワイトバランス	フルオートTTL
レンズ	オリンパスレンズ5mm、F2.8、4群5枚(35mmフィルム換算36mm相当)
絞り	F2.8、F5.6、F11
測光方式	撮像素子によるTTL中央重点測光方式
露出制御方式	絞り・シャッター可変プログラム露出制御
撮影範囲	
C-800L	0.5m〜∞(通常モード) 0.2m〜0.5m(マクロモード)
C-400L	0.75m〜∞(通常モード) 0.2m〜0.75m(マクロモード)
シャッター	
C-800L	1/8〜1/500秒(メカニカルシャッター併用)
C-400L	1/8〜1/500秒
感度	
C-800L	ISO100相当
C-400L	ISO130相当
ファインダー	光学実像式ファインダー(パララックス補正マーク、逆光補正用ターゲットマーク)、液晶モニタ

液晶モニタ	：1.8インチTFTカラー液晶
モニタ画素数	：約61,000画素
オンスクリーン表示	：日付時刻、コマナンバー・プロテクト、画質モード、消去方法の指示、電池残量表示
フラッシュ充電時間	：約6秒(常温時、新品電池使用)
フラッシュ撮影範囲	
C-800L	：0.2m〜2.4m
C-400L	：0.2m〜3.5m
フラッシュモード	：オート発光(低輝度時自動発光、逆光時自動発光)、赤目軽減発光、発光禁止、強制発光
コントロールパネル	：画質モード、記録可能残り枚数、消去モード、フラッシュモード、セルフタイマー、バッテリー残量、マクロモード、書き込み中を表示
オートフォーカス (C-800Lのみ)	：TTL方式AF
検出方式	：コントラスト検出方式／焦点調節範囲：0.2m〜∞
セルフタイマー	：作動時間12秒
外部コネクター	：DC入力端子、データ入出力端子(RS232C)
日付・時刻	：画像データに同時記録
自動カレンダー機能	：2023年まで自動修正
カレンダー用電源	：3Vリチウムコイン電池(CR2025)×1個(交換可能)
使用環境	
温度	：0〜40℃(動作時)／−20〜60℃(保存時)
湿度	：30〜90%(動作時)／10〜90%(保存時)
電源	：単3アルカリ×4本(単3ニッカド,単3リチウム、また単3ニッケル水素使用の場合バッテリーチェック機能は正しく機能しない。単3マンガン電池は使用できない)
大きさ	：幅145mm×高さ72mm×厚さ47mm(突起部含まず)
重さ	
C-800L	：310g(電池別)
C-400L	：295g(電池別)

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

OLYMPUS®

オリンパス光学工業株式会社

〒163-91東京都新宿区西新宿1の22の2 新宿サンエービル

国内サービスステーション（修理に関するお問い合わせ）

※土・日曜、祝日および年末年始は原則として休みます。フォトプラザは水曜および年末年始が休みです。

東　京 160 東京都新宿区新宿5の17の9 伊勢丹そば新宿5丁目
交差点角（フォトプラザ内）.....☎03(3209)4821

101 東京都千代田区神田駿河台3の4
龍名館ビル5F ....☎03(3251)9826

大　阪 542 大阪市中央区南船場2の12の26
オリンパス大阪センター2F ....☎06(252)6991

名古屋 460 名古屋市中区錦2の19の25
日本生命広小路ビル4F ....☎052(201)9571

札　幌 060 札幌市中央区北3条西4丁目
日本生命ビル8F ....☎011(231)2320

仙　台 980 仙台市青葉区一番町1の3の1
日本生命仙台ビル9F ....☎022(225)6821

広　島 730 広島市中区八丁堀16の11
日本生命第2ビル5F ....☎082(228)3821

福　岡 810 福岡市中央区天神1の14の1
日本生命ビル4F ....☎092(761)4466

インフォメーションセンター

〒160 東京都新宿区新宿5の17の9 伊勢丹そば新宿5丁目
交差点角（フォトプラザ内）..............☎03(3208)5501

テクニカル・サポート（製品に関するお問い合わせ）

Tel03(5802)3400　FAX 03(5802)3035

1AG6P1P0337--A

9612 DI 001-2 SU